学校番号	408

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村出版）						
副教材等	「ペン習字の基礎」（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では文字の表情の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字の書から、漢字仮名交じりの書、仮名の書等を体験し、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。
・芸術としての書を自身の表現として制作し、自分の気持ちや、他の人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
・作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な能力を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期	漢字の書	・楷書及び行書の古典 「九成宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」 「蘭亭序」「風信帖」 などの古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作) ・楷書、行書による作品制作	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。(鑑・知) a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	作品	作品 プリント	振り返り プリント 観察

二学期	仮名の書	・古典「蓬莱切」、「高野切古今和歌集第三種」などの臨書を通じて、古典(平仮名・変体仮名・片仮名)の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作)	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。(鑑・知) a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	作品	作品 プリント	振り返り プリント 観察

三学期	漢字仮名交じりの書	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・意図に基づき、漢字(楷書・行書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和した用筆・運筆、字形全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。(鑑・知) a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。(技) b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)	作品	作品 プリント	振り返り プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度